



広報

なは



第775号毎月1回発行
2015年(平成27年)

8月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2015(平成27)年6月末現在	
総人口	323,015 (3,220)
男	156,583 (1,860)
女	166,432 (1,360)
世帯数	145,797 (2,044)

発行：那覇市
編集：秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎(代表)867-0111
印刷：有限会社サン印刷

7月19日、城間幹子市長により「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(通称「レインボーなは宣言」)が発表されました。

市では、※LGBTを含む性的マイノリティに対する差別や偏見を人権問題ととらえ、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。

※LGBTとは…L(レズビアン・女性の同性愛)、G(ゲイ・男性の同性愛)、B(バイセクシュアル・両方の性に惹かれる人)、T(トランスジェンダー・心とからだの性が一致しない、もしくは一致を求めない人)の頭文字。他に、恋愛感情や性的欲求を抱かないアセクシャル(無性愛)などもある。

「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言 レインボーなは宣言

人がどのような性を生きるか、また誰を愛し・愛さないかは、すべての人が幸福に生きるために生まれながらにして持っている権利、すなわち人権であり、誰もがその多様な生き方を尊重されなければなりません。

那覇市は、市民と協働し、性自認及び性的指向など、性に関するあらゆる差別や偏見をなくし、誰もが安心して暮らせる都市をめざして、ここに『性の多様性を尊重する都市・なは』を宣言します。

平成27年7月19日 那覇市

発表!!



レインボーなは宣言



「レインボーなは宣言」とは

レインボーは、たくさんの色を含む美しさから多様性の象徴とされています。近年は、LGBTを含む性的マイノリティをサポートする意思を示したり、当事者が自分自身ありのままであることを誇りに思う気持ちを表現するものとして知られています。そこで宣言の通称を「レインボーなは宣言」としました。

本市は、アジアの空と海の玄関口として、古くから多様な人々の交流を支えてきました。誇りある国際交流都市として、また沖縄の県都として、人々が多様なままに豊かなつながりを持ち、自分らしくのびやかに暮らすことのできるまちを目指します。

なぜ宣言をするの?

市では、1997年から毎年性的マイノリティについて、市民を対象とした意識啓発講座を実施し、情報提供をしてきました。また、性的マイノリティの生きづらさからくる自殺危険率の高さに注目し、支援にかかわる担当者などを対象に自殺対策研修会を行っています。そのほか、電話相談の受付や、保健所での匿名かつ無料によるHIV・性感染症の検査・相談、また、当事者イベントの「ピンクドット沖縄」を共催するなど、性の多様性の尊重に取り組んできました。

しかし、従来の価値観の中でこうしたことは浸透しにくく、ひろく市民に共有されているとは言えないのが現状です。そこで市では、宣言によってあらためて性の多様性が重要な問題であることを確認し、市民と協働して一切の差別や偏見をなくしていく決意を表明することにしました。

次年度以降には、市職員に対する研修や相談窓口の明示など、より一層「レインボーなは」にふさわしいまちづくりに取り組んでいきます。

私たちができること

人がどういう性別を生きるか、という「こころの性」や、誰を愛するか(愛さないか)、という性的指向は、家庭での育て方によって決定されるものではありません。また、病気ではないので精神療法で「治療」することもできません。虹の色はさまざまでありながら上下がないように、人はひとり一人が違った存在であり、その性のあり方も多様なのです。

みんな違う、ということをいつでも気にとめておいてください。私たちは、つい無意識に自分の思う「ふつう」を相手にも求めてしまいがちですが、大切なのはそんな「ふつう」を押し付けないことではないでしょうか。

相談窓口

匿名での相談も受け付けます。安心してお電話ください。

●なは女性センター「ダイヤルなは」
(月～土、9～12時・13～17時)
☎861・7515

LGBTに関する講座も行っています。詳しくは7面なは女性センターの欄をご覧ください。



主な紙面

- 発表!!レインボーなは宣言……………1
- 市職員募集臨時福祉給付金なふあぬわ(協働)……………2
- プレミアム付商品券へ蚊に刺されないよう注意!その他……………3
- タトゥー・アートメイク・介護予防教室!その他……………4
- 情報バック……………5
- 博物館トピックス(ニュースダイジェスト)その他……………8

平和交流・男女参画課 なは女性センター ☎951・3203
お問い合わせ

★ ★ ★ ★ ★ 私たちも応援しています! ★ ★ ★ ★ ★



阿波連 光 (沖縄県弁護士会会長)
みんなが大切にされる社会は、みんながひとりひとりの個性の違いを認めて、受け入れることによってこそ成立します。それに取り組むレインボーなは宣言を応援します。



吉崎 敦憲 (琉球大学大学院法務研究科長)
人にはそれぞれ個性があります。その個性があるがまま尊重される社会こそ、自由と平等を標榜する日本国憲法が真に目指す社会といえます。人が皆、互いの個性を認め合い、それぞれの形で幸せを追求し享受できる社会、そんな社会の実現を願ってやみません。



高倉 直久
(ホテルパームロイヤルNAHA代表取締役 総支配人)
今回の支援宣言は、LGBTフレンドリー企業である弊社をはじめ、今後支援を検討される企業にとってもたいへん意味深いものになります。この宣言をきっかけに全ての市民にとって平等に住みやすい県都那覇市になりますようご祈念申し上げます。



佐渡山 美智子 (フリーアナウンサー)
この世に生をうけたその時から、すべての人に幸せになる権利があるはず。ひとりひとりの違いは個性。知らないことが、人を傷つけていることを、知る必要があります。それぞれの個性と生き方を認め合えることを社会の基本として、無理解、偏見や差別のないふるさと沖縄でありますように。



乙武 洋匡
(作家、東京都教育委員)
誰もが自分らしく生きることのできる社会へ。LGBTへの支援を通じて、こうした社会の実現を目指す那覇市の取り組みを応援しています!



高良 結香
(ミュージカル俳優・シンガーソングライター)
Love is love!
那覇市、沖縄県、そして宇宙の中のLGBTのコミュニティのみなさんのことを心から応援しています!



山咲 トオル
(漫画家・タレント)
私、山咲トオルは那覇市のLGBT支援宣言に賛同いたします。心より♥



きいやま商店
(ミュージシャン)
きいやま商店は、那覇市のLGBTへの取組を応援します!